

報 雜

人 事

岡山醫科大學教授 林 道 倫
 歐米各國へ出張ヲ命ス (二月二十四日)
 怡 土 良 三
 任岡山醫科大學助教授
 叙高等官七等
 岡山醫科大學助教授 怡 土 良 三
 本俸十一級俸下賜
 職務俸金四百五拾圓下賜 (二月二十六日)
 叙正六位 從六位 庄 司 義 治
 叙從六位 正七位勳六等 林 成 道 (二月十五日)
 九州帝國大學教授 赤 岩 八 郎
 岡山醫科大學教授 安 藤 畫 一
 陞叙高等官一等 (三月一日)
 岡山醫科大學助教授 中 川 小 四 郎
 本俸四級俸下賜 (二月二十八日)
 朝鮮道立醫院醫官 石 原 貫 一
 慶尙北道立大邱醫院長事務取扱ヲ免ス (一月二十一日)
 陸軍三等軍醫正 野 田 諦 俊
 正六位勳四等
 任陸軍二等軍醫正
 陸軍二等軍醫從七位 吉 岡 總 一
 陸軍二等軍醫從七位 菅 田 瀨
 任陸軍一等軍醫
 篠山衛戍病院長兼歩兵第七
 十聯隊附陸軍二等軍醫正 高 原 來 二
 陸軍二等軍醫正 野 田 諦 俊
 待命被仰付
 善通寺衛戍病院附
 陸軍三等軍醫正 石 井 義 章
 補第十一師團軍醫部部員

陸軍軍醫學校附 平 川 龍 造
 陸軍二等軍醫正
 補津衛戍病院長兼歩兵第三十三聯隊附
 陸軍造兵廠名古屋工廠廠員
 兼名古屋陸軍兵器支廠廠員 菅 田 瀨
 陸軍一等軍醫
 補下志津陸軍飛行學校附兼同校教官
 同校研究部部員 (三月六日)
 岡山醫科大學教授 畑 文 平
 本俸六級俸下賜 (三月六日)
 九州帝國大學教授 赤 岩 八 郎
 補九州帝國大學醫學部附屬醫院長
 職務俸金九百圓下賜
 九州帝國大學評議員ヲ命ス (三月十日)
 正六等 井 上 誠 夫
 正六位勳六等 平 川 龍 造
 正六位 笹 原 竹 三
 叙從五位 (三月一日)
 海軍軍醫中尉 加 藤 五 郎
 補霞ヶ浦海軍航空隊附 (三月十五日)
 鐵道醫從六位 岡 島 壽
 陸軍三等軍醫正八位 神 谷 英 典
 昭和三年勅令第百八十八號ノ旨ニ依リ大禮記念章ヲ
 授與セラル (三年十一月十六日)
 本欄ハ昭和三年支那事變ニ於ケル功ニ依リ
 叙賜セラレタルモノナリ
 叙 賜
 勳等 賜金 陸軍官等位勳功 氏 名
 瑞五等 四〇〇 一等軍醫 大 田 澄
 正七位勳六等

○濱崎幸雄君 病理學研究の爲め歐洲在留を命せられたる岡山醫科大學助教濱崎幸雄君は本月15日當地を出發し渡歐の途に上られたり

○野田諦俊君 は今般陸軍を退職の上愛知縣海部郡津島町大字津島に於て開業せられたり

○新卒業生消息 本年3月岡山醫科大學を卒業せる諸君の今日まで判明せる勤務先は左の如し

岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室	石原忠之
岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室	岩永勸一
岡山醫科大學醫化學教室	星島忠夫
岡山醫科大學柿沼内科教室	友廣忠正
岡山醫科大學柿沼内科教室	大塚蕃
岡山醫科大學泉外科教室	小田源太郎
岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室	小川壽
岡山醫科大學眼科教室	渡邊武
岡山醫科大學眼科教室	河原省平
岡山醫科大學醫化學教室	高田弘
岡山醫科大學産科婦人科教室	田隅克巳
岡山醫科大學産科婦人科教室	根岸五郎
岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室	中村孟
岡山醫科大學病理學教室	中村俊雄
岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室	中西正男
岡山醫科大學泉外科教室	中山一彦
岡山醫科大學生理學教室	永光軍一郎
岡山醫科大學泉外科教室	宗盛武雄
岡山醫科大學醫化學教室	浦城二郎
岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室	桑原利勝
岡山醫科大學柿沼内科教室	松田義秋
岡山醫科大學病理學教室	小西信雄
岡山醫科大學醫化學教室	澁谷成利
岡山醫科大學稻田内科教室	東島辰雄
岡山醫科大學稻田内科教室	本松明
岡山醫科大學法醫學教室	桃井寛次
岡山醫科大學津田外科教室	菅田士郎
岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室	菅龍正
岡山醫科大學泉外科教室	杉佐助
日本赤十字社支部姫路病院	石川正次
高松市日本赤十字社香川支部病院	太田克

高松市日本赤十字社香川支部病院	村上 徳 太 郎
日本赤十字社支部岡山病院	遠 藤 虎 之 助
日本赤十字社支部岡山病院	水 谷 一 輝
岡山縣警察部衛生課	大 野 慶 文
日本赤十字社支部岡山病院	岡 村 榮 雄
日本赤十字社支部岡山病院	加 藤 照 夫
日本赤十字社支部岡山病院	古 林 隆 碩
倉敷市中央病院外科	高 見 孝 志
神戸市天兒病院	高 橋 熊 夫
松山市日本赤十字社支部病院	玉 井 元 三
松山市日本赤十字社支部病院内科	松 本 茂 人
大阪市牟田病院	中 島 秀 征
尼ヶ崎市内藤醫院	野 口 武 夫
海軍軍醫	黒 田 秀 隆
大阪醫科大學楠本内科教室	厨 董
東京市私立永井病院	岡 本 好 之 助
陸軍軍醫	戒 能 一 郎
陸軍軍醫	松 山 啓 助
陸軍軍醫	廣 津 格
陸軍軍醫	仙 波 廣 一
姫路市立北條病院	福 本 清 治
鐘淵紡績會社岡山工場	水 野 知 文

◎學位授與 網島義人、藤田富豊及び滋野井至孝の3君は論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしか網島、藤田兩君の論文は昨年12月16日、滋野井君論文は本年1月20日の教授會を通過し網島、藤田兩君は去月25日、滋野井君は本月25日何れも醫學博士の學位を授與せられたり、其主論文及び參考論文は次の如し。

網 島 義 人 君

主 論 文

脾臟ト甲状腺トノ交互作用ニ關スル研究

其1. 第1回報告 Kottmann 氏反應ニヨル知見 (昭和2年10月本誌第39年第10號ニ發表セリ)

其2. 第2回報告 血液像殊ニ網狀赤血球及ビ血小板ノ變化ニ就テ (昭和3年1月本誌第40年第1號ニ發表セリ)

- 其 3. 第 3 回報告 脾動靜脈ノ血小板ニ就テ (昭和 3 年 11 月本誌第 40 年第 11 號ニ發表セリ)
- 其 4. 第 4 回報告 脾動靜脈ノ白血球, 血色素, 網狀赤血球等血液成分並造血臟器ノ組織像ニ就テ (昭和 3 年 12 月本誌第 40 年第 12 號ニ發表セリ)
- 其 5. 第 5 回報告 赤血球沈降速度ニ就テ (昭和 4 年 1 月本誌第 41 年第 1 號ニ發表セリ)
- 其 6. 第 6 回報告 既報血小板數變動ニ對スル考察 (昭和 5 年 2 月本誌第 42 年第 2 號ニ發表セリ)

參考論文

1. 十二指腸蟲病及ビ其他一二疾患患者ノ植物性神經系統機能検査成績ニ就テ (大正 14 年 8 月本誌第 427 號ニ發表セリ)
2. 十二指腸蟲病患者ノ甲状腺機能状態ニ就テ (昭和元年 12 月本誌第 443 號ニ發表セリ)
3. 十二指腸蟲病患者ノ血液像殊ニ血小板及ビ網狀赤血球及ビ血球沈降速度ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第 1 卷第 2 號ニ發表セリ)
4. 諸種疾患時ニ於ケル肝臟食餌療法ノ應用並血液像變化ニ就テ (昭和 4 年 12 月本誌第 41 年第 12 號ニ發表セリ) (網島義人, 吉中佳辰夫共著)
5. 血小板ノ分布性量的移動ニ就テ (昭和 5 年 1 月本誌第 42 年第 1 號ニ發表セリ) (網島義人, 吉中佳辰夫共著)

藤 田 富 豐 君

主 論 文

網狀織内皮細胞系統ト水分代謝トノ關係ニ就テ

- 第 1. 昭和 2 年 7 月日本消化機病學會雜誌第 26 卷第 7 號ニテ發表セリ
- 第 2. 昭和 3 年 6 月本誌第 40 年第 6 號ニテ發表セリ
- 第 3. 昭和 4 年 10 月本誌第 41 年第 10 號ニテ發表セリ

參考論文

1. 網狀織内皮細胞系統ノ官能ト血液組織間物質交代現象トノ關係ニ就テ (藤田富豐, 植村吉雄共著)
2. 肝臟食餌ト水分代謝ニ關シ實驗的研究 (昭和 4 年 9 月本誌第 41 年第 9 號ニテ發表セリ) (藤田富豐, 吉中佳辰夫, 原田要一共著)
3. 諸種疾患殊ニ肋膜炎ニ於ケル皮下組織吸収性ニ就テ (昭和 4 年 11 月本誌第 41 年第 11 號ニテ發表セリ) (藤田富豐, 植村吉雄共著)

滋 野 井 至 孝 君

主 論 文

肝膽道系疾患特ニ膽石症ニ於ケル膽囊及ビ十二指腸膽汁ノ研究 (昭和 4 年 4 月本誌第 41 年第 4 號ニ發表セリ)

參考論文

1. 「ゲラゾール」ヲ以テスル經口的膽囊造影法ニ關スル經驗（昭和4年7月本誌第41年第7號ニ發表セリ）
2. 特發脫疽ニ對スル交感神經手術ノ效果ニ就テ（昭和5年1月本誌第42年第1號ニ發表セリ）
3. 狹心症ニ對スル頭部交感神經切除術ノ效果ニ就テ（日本外科學會雜誌第27回第3號ニ發表セリ）
4. 乳癌ノ骨轉位ヲ來セシ2例ニ就テ（日本外科學會雜誌第25回第6號ニ發表セリ）
5. 骨盤骨折ニ就テ（昭和2年3月日本整形外科學會雜誌第1卷第2號ニ發表セリ）

◎卒業證書授與 岡山醫科大學に於ては本年の卒業生下記58名に對し本月20日卒業證書を授與せり（イロハ順）

石原忠之	✓石川正次	岩永勲一	星島忠夫
富田廉三	友廣忠正	太田克	大塚蕃
✓大重實造	✓大野慶文	小田源太郎	✓小川壽
✓岡村榮雄	岡本好之助	越智幸雄	渡邊武
加藤照夫	河原省平	✓横山久衛	高見孝志
高橋熊夫	✓高田弘	田隅克巳	玉井元三
立野清一	✓中村孟	✓中村俊雄	中西正男
✓中山一彦	中島秀征	✓永光軍一郎	宗盛武雄
村上徳太郎	✓浦城二郎	✓野口武夫	黒田秀雄
厨董	桑原利勝	✓戒能一郎	✓松田義秋
✓松本茂人	松山啓助	✓福本清治	小西信雄
古林隆碩	遠藤虎之助	✓齋藤出羽	水野知文
✓水谷一輝	✓澁谷成利	✓東島辰雄	✓廣津格
✓本松明	✓桃井寛次	仙波廣一	菅田士郎
菅龍正	✓杉佐助		

尙ほ此外病氣の爲め試験延期の者3名あり

◎入學許可 岡山醫科大學本年の入學志望者は132名に達せるを以て本月16日より3日間選抜試験を執行し次の68名に入學を許可したり（イロハ順）

石原貫一	石原次文	石原徳春	伊藤誠爾
伊藤巖	西井弘之	西村定重	堀正澄
登坂清	沼本源次郎	大道峰雄	大上亨
奥雅之	岡部政之	織田元一郎	渡邊翠
勝山榮	吉野啓三	吉岡堅二	芳野俊五
高橋薫	高原章夫	高島三郎	武内暢
竹内榮次郎	谷正男	田村勇	大門周治

中村眞太郎	中村徳三郎	中村熊三	難波政士
長野 曠	鳴海岩雄	野間安則	久山謹一
久保一正	山口茂樹	山本幹爾	安井正俊
安岡準三	松本孝雄	松森哲夫	前田哲夫
福原尙文	藤井敏夫	黄 媽福	青木潤次
有松龍一	粟屋一步	安藤秀夫	佐藤信也
佐藤達雄	佐藤直泰	佐藤義信	佐々木英雄
齋藤 實	坂本實三	榊原秀夫	笹田金一
木村敏三	宮地重樹	新宅哲夫	澁谷三郎
平木 潔	平田 晋	久富英男	杉山五郎

◎役員會 本月5日午後4時半より岡山醫科大學會議室に於て岡山醫學會役員會を開き本年度會計豫算原案を議決し尙ほ投稿内規一部分變更をも協議し次の通り決定せり

1. 原著ハ20頁(歐文抄録ヲ含ム)ヲ限度トシ之ヲ超過セバ實費ヲ申受クルコト
2. 原著内ノ表ニテ簡單ナルモノハ15表迄(印刷頁數5頁), 挿圖ハ10圖迄無料トスルモ特ニ高價ナル費用ヲ要スルトキハ實費ヲ申受クルコト
3. 表及ビ挿圖アルトキハ合計15迄ヲ無料トス. 即チ印刷後ノ表頁數4頁及ビ挿圖5迄トス

尙ほ右は本年4月掲載の論文より實施すること

右終りて午後5時閉會す. 當日の出席者は次の如し

田中會長, 石本, 林(香苗), 濱崎, 奥島, 柿沼, 上代, 田村, 田部, 武田(俊光), 津田, 中川, 遠藤, 赤澤, 北山, 皆見, 清水, 白坂の各評議員

◎岡山醫學會第334回通常會

本年4月17日午後4時より岡山醫科大學に於て開會の筈なり